

# 「同姓同名」患者様への対応について

安全管理室

## 1) 病院全体

医事課は、入院患者様と同姓同名の患者様が入院された場合、安全管理室に報告し、翌朝危機管理朝礼の中で報告する。

## 2) カルテへの「同姓同名」表示について

### ・外来患者の場合

各科外来受診時、同姓同名の患者が存在する場合外来窓口担当医事課が外来カルテに「同姓同名あり」の印鑑を押す……………（別紙参照） \* 予約表での確認を原則とする

（すべての診療科外来カルテに印鑑を押すことは現時点では不可能。

新病歴システム導入後本格的に開始とする）

### ・入院患者の場合

病棟入院患者に「同姓同名」の患者が存在する場合病棟担当医事課が、入院カルテに「同姓同名あり」の印鑑を押す……………（別紙参照）

## 3) 患者自身に「同姓同名」に対する注意の用紙を渡し、協力を得る ……（別紙参照）

- ・外来窓口または入院病棟にて用紙を渡し、説明する

## 4) 診察・検査等に使用する書類類には、すべて「同姓同名あり」の印を押す

## 5) 外来予約に関する対応

- ・同じ診察日にならないようにする
- ・どうしても同じ診察日になる場合は、予約時間を考慮する

## 6) 入院時の対応

- ・原則、同じ病棟には入院を控える
- ・同病室になった場合は、同室を避ける
- ・カルテブックの背表紙に「同姓同名」の表示をする

### 【注意】

- \* 漢字等文字が異なっても読みが同じ場合は同姓同名と捉えること。

Ex 山田太郎 と 山田田老

- \* 同姓で氏名が似ている場合も、間違いやすいので「同姓同名」と同じ注意をはらう必要がある。

Ex 松林健（たけし） と 松林けん

- \* 必ずフルネームで確認し、患者様にもフルネームで名乗っていただくことを徹底していくことが事故防止の基本です。

患者様各位

## 「同姓同名」に関するお願い

東京医科大学茨城医療センターには、患者様ご自身と「同じ姓・名（同姓同名）」の方が受診されております。

我々医療者は、患者様間違えの無いよう十分な確認をし、診療にあたっておりますが、患者様ご自身も「同姓同名」の方がいらっしゃることをご承知下さいますようお願いいたします。

患者様氏名のフルネームでの確認以外に必要な応じ、生年月日・住所にて確認させていただく場合もございますので、ご理解のうえ御協力お願いいたします。

東京医科大学茨城医療センター